

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	QAIC JP 0377-BにてISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境方針をホームページに記載している												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	紛争鉱物調査を使っていないことを確認している												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則において懲戒基準として厳格に明示している																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則において懲戒基準として厳格に明示している																		16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	職務発明規定にて明示している								8.2	8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	マイナンバーについては取り扱い場所を専門の部屋にて限定している その他 個人情報は、総務課においてパスワード付きファイルでの取扱としている																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取引先からの問合せの都度調査し、紛争鉱物が含まれていないことを確認している																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライチェーンを定期定期に評価し、不適切な企業には指導をしている					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	UL認証において、製品の絶縁性を保証している			3.9									12.4								
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	QAIC JP 0376-BにてISO9001を取得し、プロセスと品質特性を確保する仕組みを維持している																9				
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	より少ない電力で製造ができるよう設備更新を図っている						6							12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	製品の供給を通して社会の電動化・自動化・省力化の為に素材を供給している		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	公道の草刈を年に数2回程度実施している。 設備投資を通して工場にて発生する臭気の低減を図っている				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域において火災発生時に消防団の社員の出動を当然に許容している				4									11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	長野県内の企業においてポピンの更生をお願いしている										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	社内70か所余りに当年の行動指針と経営方針を掲示している										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	内部監査、取引先による外部監査 ISO監査、決算監査・消防署の立入・税務監査等を通して法令の順守を保證している																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	地域社会に対しては総務部 環境に対しては技術部 製造部 となっている																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ホームページ・株主総会等を活用して公表し、問合せにも対応している																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	安全衛生委員会において職場のリスクを算定し、除去するプロセスのサイクルができています																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR活動のガイドラインを整備し、公表している																			16	
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	防災訓練を定期的実施している											9		11		13 13.1				16		
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	役員会などで持続的な企業経営に努めている										8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）